

「いこいと学びの交流テラス」計画概要 (1/2)

基本方針 ～誰もが支えあう地域支援と交流のまち～

黒磯地区の岩国医療センター跡地においては、ひな壇状（テラス）の地形を活かし、福祉・科学学習施設を核として、ふれあい交流施設、自然交流施設、健康増進施設などを配置した総合的な福祉交流のまちづくりを目指します。

福祉・科学学習施設

- 「いこいと学びの交流テラス」の中核施設であり、相談など総合的な福祉活動を行う福祉センター機能や科学センター機能などにより構成し、地形や瀬戸内海の眺望を最大限に活かした配置とします。

ふれあい交流施設

- 屋内施設と連携した各種イベントを行う芝生広場や展望デッキを配置します。

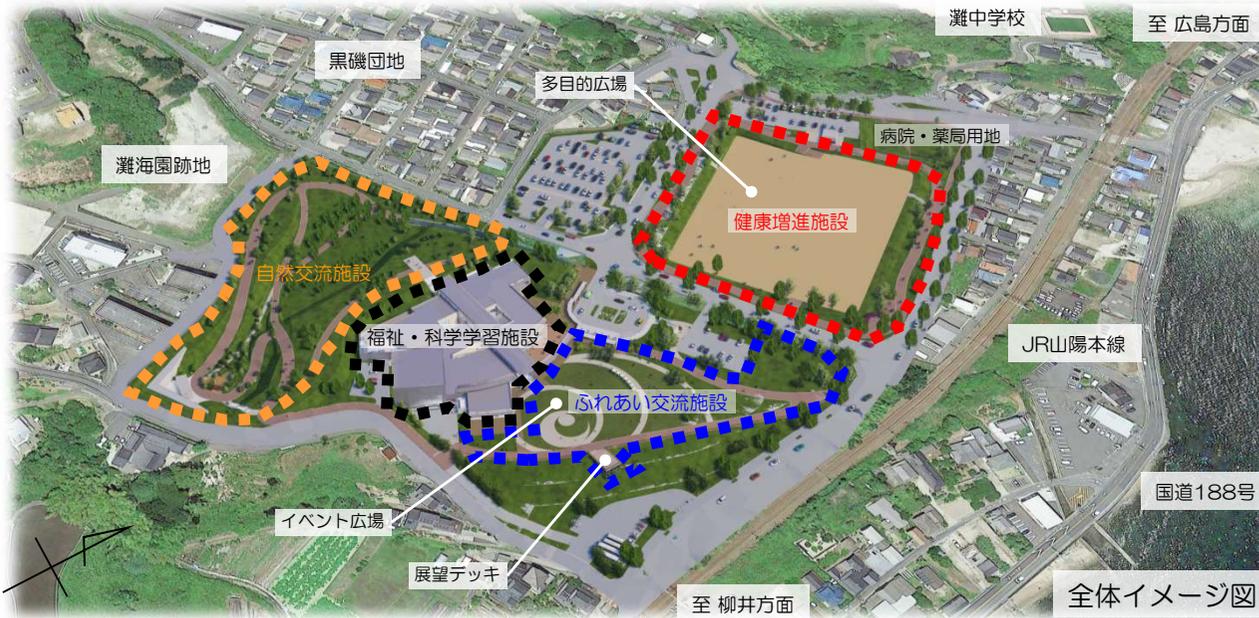
自然交流施設

- 高低差を利用した自然体験学習やビオトープなど、科学センターと一体的な学びの機能を配置します。

健康増進施設

- 多目的広場を利用した様々なスポーツ活動やウォーキング・ジョギングなど、また、災害時におけるボランティア活動拠点の臨時駐車場などに利用可能となる施設を設けます。

■ 土地利用計画イメージ図



■ 計画概要

- 整備面積 開発面積 約 10ha (外周道路等を含む)
- 主要建築物 福祉・科学学習施設 (科学センター、福祉センター、温浴施設、ホールなど)
施設面積 A ≒ 8,000㎡
地上2階建て
鉄骨造 (一部 鉄筋コンクリート造)
- その他 (屋外施設) 附属建築物 A ≒ 310㎡ (屋外トイレ3棟等)
イベント広場 約 2,000㎡
多目的広場 約 90m×110m
展望デッキ 約 9m×14m
ウォーキング・ジョギングコース (北側: 約 500m 南側: 約 800m)
自然観察施設 (ビオトープなど)
駐車場 約 220台 駐輪場 約 120台



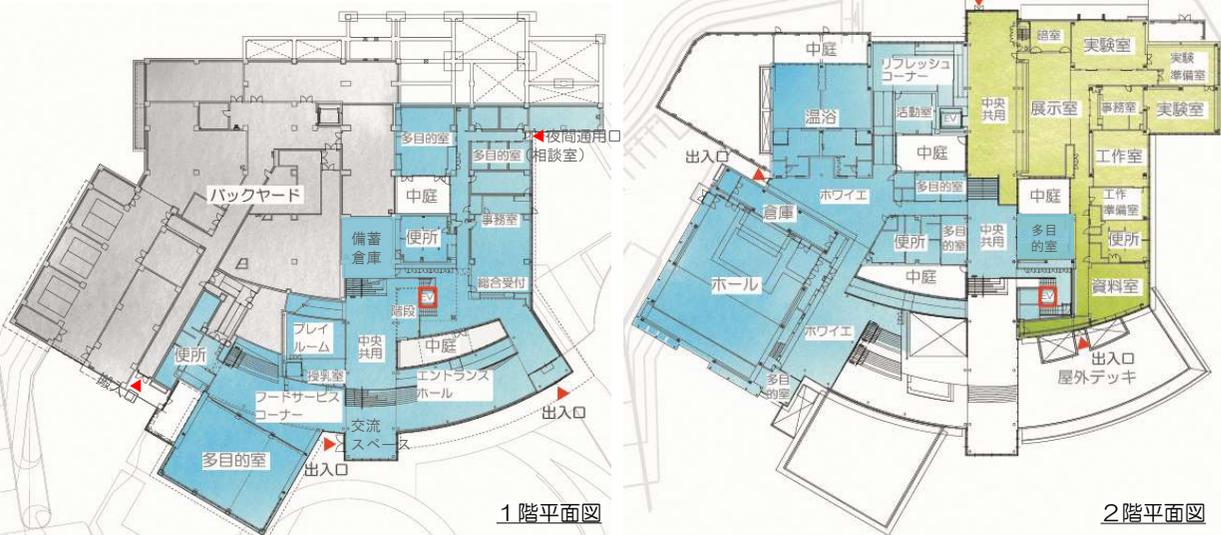
福祉・科学学習施設イメージ図



福祉・科学学習施設の屋外デッキイメージ図

「いこいと学びの交流テラス」計画概要 (2/2)

■ 主要建築物平面図



(主要な諸室)

施設機能	諸室名	整備内容や想定する具体的活動・取組など
福祉センター	多目的室 (相談室)	くらしの困りごとや心配ごとの相談などに利用できます。救護室としても利用できます。
	温浴	誰でも利用可能な入浴施設を整備します。高齢者の健康の維持、増進を支援します。
	活動室	教養の向上や多世代を含めた交流の場として囲碁将棋、教養教室等、文化的な活動に利用できます。
	備蓄倉庫	生活困窮者や災害時などの支援用食料等を備蓄します。
	ホール	科学学習・各種交流イベントの開催や市民のスポーツ活動などに利用できます。災害時には災害ボランティアセンターを設置・運営する場所として活用できます。
	多目的室 (大・中・小)	ボランティア活動をはじめ、福祉教育・生涯学習等の講座や各種交流イベントが開催できます。市民科学講座や科学クラブなどの活動に利用できます。
	リフレッシュコーナー	施設利用者が休憩や交流など自由に利用できるスペースを設けます。
	プレイルーム (未就学児用) 授乳室・親子トイレ	未就学児やその家族を対象とした室内遊戯場を設けます。知育玩具などを活用した育児支援活動に利用できます。
	中央共用	憩いや交流のできるオープンスペースを設けます。福祉関係団体等の作品展示や科学展示などのスペースとして利用できます。
	交流スペース	憩いや交流を目的としたオープンスペースとして利用できます。
科学センター	フードサービスコーナー	障害者福祉施設等のバザーなどへの支援にも利用可能な軽飲食類を提供する場として活用を図ります。
	展示室	常設展示や企画展、体験 (体感) 型の科学展示などができる場所を設けます。
	実験室 実験準備室	子供や市民を対象とした科学実験教室が開催できます。
	工作室 工作準備室	子供や市民を対象とした工作教室が開催できます。
	資料室	科学に関する書籍・専門書の閲覧ができる場所を設けます。利用者が自由に課題研究ができる場所として利用できます。

■ 主要建築物計画

主要建築物は、相談など総合的な福祉活動に誰もが利用可能な福祉機能や科学学習を行う科学センター機能などを複合・共有化することにより、世代を超えた様々な交流が行える計画としています。

また、車いすやベビーカーの利用などを考慮して、誰もが容易に施設使用できるよう、エレベーターに加え、全フロアにアクセス可能なスロープを配置しています。

施設的环境配慮として、太陽からの熱の影響を受ける西側開口部の最小化や最も頻度が高い風向きに窓を配置するなど空調負荷を低減し、ガラス性能、断熱性能、電気・空調システムなど熱効率性の高い仕様を採用して省エネルギーの実現を目指します。

また、災害時には地域住民の避難所としての利用に配慮するとともに、災害ボランティアセンターの設置・運営が円滑に行える計画とします。



■ 全体スケジュール (案)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
造成工事	■				
道路整備等工事		■	■	■	
建築工事			■	■	
外構等工事				■	■
					供用開始

■ お問い合わせ先 岩国市都市開発部 都市拠点整備課
 ○ TEL : 0827-29-5164 ○ FAX : 0827-24-4207
 ○ E-mail : kyoten@city.iwakuni.lg.jp